

総務文教常任委員会レポーター

総務文教常任委員会（小笠原茂人委員長）は、2月4日、いまだ新型コロナウイルス感染症の終息が見通せないコロナ禍において、本町の小・中学校での授業の現状と今後の授業体制について調査を行いました。

広報とよこ

議会だより

役場だより

1 調査の経過と結果

(1)リモート授業、オンライン授業などの現状について

町内の全小中学校が一斉臨時休業となった令和2年5月に、豊頃中学校の3年生がタブレット端末を活用し、ウェブ会議アプリ「Zoom」での双方向型のオンライン授業を実施している。また、新型コロナウイルスの感染が確認された児童・生徒が在籍する学年が学年閉鎖となった際にもリモートによるオンライン授業が実施されている。その他、生徒が濃厚接触者とされ自宅待機となった際や不登校の生徒への学習支援にも活用している。



更に、夏休み・冬休み期間中には児童生徒がタブレットを持ち帰り、授業支援クラウド「ロイロノート」などを活用し、健康管理や学習課題の配信や提出などに活用しているほか、学校教育向けの番組「NHK for School」を視聴し、課題等の調べ学習に活用している。

(2)安全・安心な端末の活用方法について

セキュリティ上問題のあるサイトへのアクセス防止のための「フィルタリングソフト」が各端末に入れてあり、児童生徒が安心してタブレットを利用できる環境となっている。また、各学校内のネットワークセキュリティに関しては、業者において管理がされている。

また、児童生徒がいじめや犯罪等のネット上のトラブルに巻き込まれないよう、児童生徒のネット上の不適切な投稿を検索・監視する「ネットパトロール」を教職員が定期的に実施している。

(3)端末の貸し出しについて

各学校に配置しているタブレット等を家庭学習用に自宅等で児童生徒が使用する場合には、「豊頃町教育委員会情報機器等貸出要綱」に基づき保護者から借用上の遵守事項に関する同意書の提出を求め、タブレット等を貸し出している。

出欠確認	氏名	出席	欠席	理由
08:04	08:00	出席	出席	出席
08:04	08:05	出席	出席	出席
08:04	08:08	出席	出席	出席
08:04	08:09	出席	出席	出席
08:04	08:40	出席	出席	出席

(4)教育用情報機器端末等の整備状況と今後の整備計画について

校内LANの整備については、平成27年度に整備を完了しているが、今後、豊頃中学校改築及び豊頃小学校改修工事において校内通信網の高速化を図る予定である。学習用パソコン等の導入については、国の補助金等を活用し町内各学校に総数で2222台のタブレット端末を購入し、児童生徒1

人1台の端末整備を令和2年度までに完了していることから、今後は、耐用年数が経過した端末等を計画的に更新していくこととしている。

また、クラウド化については、学習の場面においてクラウドシステムを利用したアプリケーション「ロイロノート」及び「電子ドリル」を既に活用しているが、学校業務においては、各学校の自前のサーバーを設置して運用している。今後はクラウドサーバーのセキュリティ性の高さ、初期コストや維持費の削減等の利点を考慮して、学校業務のクラウドサーバーへの移行について検討することとしている。

(5)通常授業のほかにハイブリッド型授業などの導入計画について
対面とオンラインを組み合わせた「ハイブリッド型授業」は、多くの生徒が一つの教室に集まることを避けるため、全国の大学や高等専門学校等で導入されている。現在、本町の各学校のクラス編成は多くても20名前後であり、教室内での感染対策も十分できることから、対面型を中心とした授業を実施している。
今後の状況により児童生徒が分

散登校になった場合、ハイブリッド型授業の実施もあり得るが、自宅などで授業を受ける場合には機器の設定やトラブル対処、授業中の声掛けなど、特に低学年においては保護者のサポートが不可欠なため、ハイブリッド型授業の導入については十分な検討が必要としている。

(6)デジタル教科書への移行について

今年度、全国の半数の小中学校でデジタル教科書の先行実施検証を行っているが、本町においては全ての小・中学校において実施検証を行っている。豊頃小学校では5・6年生の「音楽」、豊頃中学校では1年生「地理」、2年生「数学」、3年生「公民」の授業において、また、大津小学校については重点校に指定されていることから、全学年において1・2年生は「生活」、3年生から6年生は「社会」の授業においてデジタル教科書による指導方法の実証を行っている。

来年度は、全国すべての小学校5・6年生及び中学校全学年の英語でのデジタル教科書の実証検証を実施することとなっているが、希望する自治体については調整の範囲内で1教科追加することが可

能なため、本町は追加希望を提出し、承認されれば2教科実施することとなる。

今後のデジタル教科書の導入計画については、文部科学省の有識者会議の中で、小学校の教科書改訂のタイミングとなる令和6年度から本格的導入を求める提言が出ているため、文部科学省では今年度の実証検証等の結果を踏まえ、デジタル教科書の有効性や標準的な性能・仕様、採用する教科・無償化とするかなどを今年度中に決定する方針である。



タブレットを用いた授業(小学校)

(7)コロナ禍におけるコミュニケーションスクールの取り組みについて

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む「コミュニケーションスクール(CS)」について、本町では学校運営協議会において実施検討を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により会議等の開催が思うように

出来ていない状況であることから、今後はリモートや書面等を利用した会議の開催を検討していくこととしている。

新型コロナウイルス感染症の影響により学校運営に係る支援活動についても様々な制約がある中、コミュニケーションスクールを活用した学校支援活動として「職業体験学習」「スキー・スケート授業」などを実施しているが、子どもの学びや交流を止めないため、オンラインや授業時間外での活動等、感染リスクの低い活動での支援やコロナ禍でも活動できる取り組みを今後検討していくこととしている。

2 まとめ

新型コロナウイルス感染症の影響で学校での授業見学ができない状況ではあったが、本町の小・中学校で実際に使用されているデジタル教科書やリモート授業について、テレビモニターによるデモンストレーションを交えた説明により、現時点でのコロナ禍における本町の小・中学校の授業の現状を確認することができた。
今回授業の状況を実際に見学することが出来なかつたので、コロ

ナ終息後において、再度、授業見学等による調査を実施する必要があるのではないかと意見が出された。

今後においては、コロナ禍における学校での新しい生活様式が定着する中での児童生徒の学びの保障やデジタル教科書の導入に伴う授業への対応など、タブレット端末等を活用したリモート授業及びオンライン授業が更に加速され必要となっていくことと思われる。このため、授業のデジタル化を進めることで、先生と児童生徒との絆や報徳の教えを基本とした豊頃スタイルによる学力の向上が更に図られているか、タブレット端末等を活用したリモート授業及びオンライン授業による成果を検証することも必要ではないかなどの意見も出されていた。



実際のリモート授業の様子(中学校)

広報とよこ

議会だより

役場だより